

宮之城町 50 周年記念式典

～未来へ向かって翔ばたけ宮之城～

11月21日、宮之城町50周年記念式典が町文化センターで挙行されました。

この式典は、昭和30年4月に新町「宮之城町」が誕生してから50年の節目を迎えるにあたり、先人の英知と努力に感謝しながら50年の歴史を振り返り、新町「さつま町」のまちづくりに向けて大きく飛躍・発展していくことを願い開催されました。

オープニングでの宮之城中学校吹奏楽部による演奏や宮之城町50年を振り返るビデオの放映、また町民表彰・特別表彰などの各種表彰、中学生による記念宣言などを行いました。



式典の様子

各種表彰

表彰を受けられた皆さん、おめでとうございます

◇町民表彰



浦牛原 平 (地方自治・社会福祉部門)

昭和61年から公民会行政連絡員、また平成2年からは地区行政推進員として現在も活躍され、通算19年の永きにわたり、町と地域のパイプ役、また地域活動のリーダーとして地域発展のため尽力されている。平成元年からは民生委員児童委員として要保護世帯の実情や問題事例などを客観的・総合的に把握し、双方間の調整役として献身的に取り組まれ、地域社会福祉の向上に貢献された功績は誠に多大なものがある。



山 元 幸 雄 (教育文化・社会福祉部門)

昭和55年から宮之城高等学校ラグビー部の強化を図るため、宮之城夏季合宿の誘致を積極的に行い、県内外の高校ラグビーの夏季合宿のメッカとしてスポーツコンベンションタウン宮之城の基礎を築かれ、また町陸上協会会長として陸上競技の振興発展に貢献された。さらに民生委員児童委員として要保護世帯の実情や問題事例などを客観的・総合的に把握し、双方間の調整役として献身的に取り組まれ、地域社会福祉の向上に貢献された功績は誠に多大なものがある。



木 原 晃 一 (教育文化・社会福祉部門)

昭和56年木原医院を開設し地域医療に尽力されるとともに、薩摩郡医師会役員として救急医療体制や医師会病院の設立、施設整備の充実による医療提供体制の整備、地域保健活動、学校保健などに率先して取り組み、保健医療の発展に貢献された。さらに町体育協会会長として副会長を含め通算18年間にわたり組織の充実拡大に努め、町体育協会の基礎を築かれ、社会体育の意義のもと本町スポーツの振興発展に貢献された功績は誠に多大なものがある。



永 徳 市 郎 (社会福祉部門)

昭和55年12月から民生委員児童委員として24年間の永きにわたり、要保護世帯の実情や問題事例などを客観的・総合的に把握し、双方間の調整役として献身的に取り組まれ、現在もなお町民生委員児童委員協議会会長を務められている。またこの間、町社会福祉協議会会長として本町社会福祉事業の実践・指導などに積極的に努め、町政発展と社会福祉向上に貢献された功績は誠に多大なものがある。